

平成26年度入学試験問題（前期日程）

小論文

教育学部 生涯教育課程 心理臨床科学コース A群

注意事項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
4. 解答時間は、120分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

問 題

次に提示される6つのストーリーの間に、それぞれ300字以上、400字以内の文章を一つずつ、合計五つ挿入し、全体として一つの物語を作りなさい。ただし、ストーリーの順は変えてはいけない。

なお、文中A、Bは登場人物を意味し、Aは主人公を指す。

また、最後の2つのストーリーは、テスト開始1時間後に配布する。

ストーリー1

非公開

(「太陽の子」, 灰谷健次郎, 角川文庫より)

文章1

ストーリー2

非公開

(「海辺のカフカ(下)」, 村上春樹, 新潮文庫より)

文章2

ストーリー3

非公開

(「勝手にふるえてろ」, 綿矢りさ, 文春文庫より)

文章3

ストーリー4

非公開

(「マンハッタン少年日記」, ジム・キャロル, 晶文社より)

文章4

ストーリー5

非公開

(「罪と罰 (上)」, ドフトエフスキー, 新潮文庫より)

文章5

ストーリー6

非公開

(「車輪の下」, ヘッセ, 新潮文庫より)

平成26年度入学試験問題（前期日程）

小論文

教育学部 生涯教育課程 心理臨床科学コース A群

出題の意図

本コースでは、教育学部のアドミッションポリシーの中でも特に、学びの場を豊かにするための創造性や人と人とを結ぶなどのコーディネート能力を培うことで、現代的・地域的教育課題に柔軟且つ適切に対応できる総合的・実践的指導力を持った人材育成に寄与する。その中で、単に臨床心理学にとどまらない、懐深い人間理解の視点を培うことで、現場で本当に役立つ臨床心理士や音楽療法士、臨床動作士の基礎を築くとともに、教員を含めた幅広いニーズに応えうる社会人の養成を行う。こうした専門家になるためには、人間に対する深い共感性と豊かな想像力が不可欠である。さらに、そうした想像力を活かす柔軟性と論理的思考能力が求められる。

こうした能力を評価するため、本入試問題では、著名な小説の一節を抜き出し無作為に並べ、その間に文章を挿入してもらい、全体として一つのストーリーとなるよう構成する課題を設定した。具体的には6つの文章の間に入る5つの文章を作成する。前後の全く異なる文脈をつなぐ文章を構成するには、豊かな想像力と高度な文章構成力が要求される。さらに、後半の2つの文章は、試験開始1時間後に発表される。それまで想像しえない文章が示されることにも対応する柔軟性が求められる課題といえる。